

前回の議論を踏まえた論点整理と 本日の検討課題について

平成30年4月13日
事務局

前回の議論を踏まえた論点整理：規制の在り方の検討に当たっての視点

(規制の在り方と技術の関係)

- 過疎化や人手不足への対応など事業環境の変化に応じて保安規制の在り方を検討する必要。その際、外形的な基準ではなく、求められる安全性は何かという観点から、技術でどのように担保することができるのか、時間軸の視点も含めて検証が必要ではないか。

(対象地域の考え方)

- 周辺環境や密度(都市部/過疎地など)によって、事故リスクや求められる安全水準が異なる可能性も考慮する必要はないか。

(コスト負担の考え方)

- 新たな技術を検証し、社会に実装していく上での国・自治体・民間のコスト負担(制度変更に必要なコスト、普及段階の導入コスト等)の在り方をどのように考えるか。

本日の検討課題①IT等の技術の活用可能性について

(保安の効率化)

- 現状、ヒトの力に大きく頼っている保安規制(例：セルフSSの監視体制など)について、IT等の技術の活用により、守るべき安全性を担保しながら、どのように効率化することができるか。

(新しいビジネスモデルの可能性)

- IT等の技術の活用は保安の効率化にとどまらず、データの活用などにより、新たなサービス創出につながる可能性はないか。

(コストの観点)

- 新たな技術を導入していくに当たっては、企業の投資負担も考慮する必要。得られる効果とコスト負担の両面からの検討が必要ではないか。

本日の検討課題②LPガス供給の効率化に向けた方策について

(過疎化への対応)

- 過疎化の進展等を踏まえ、現行の保安規制(30分規制やLPガススタンドに係る規制等)について、地域への供給維持等の観点から見直すべき点はないか。

(配送合理化)

- 配送を基本とするLPガス供給において、配送・保安人員の不足は深刻な課題。IT等の技術の活用や配送における連携体制の確立等により、配送や保安の合理化を進めることが必要ではないか。

(ラストワンマイル機能)

- 直接燃料を顧客に届けるラストワンマイル機能を活かして、ガソリンスタンドや他の生活物資など周辺産業との連携により、地域のニーズに応じ、幅広い生活サービス拠点として付加価値を提供していくことができる可能性はないか。